

静岡県立高等学校の在り方に係るグランドデザイン（富士地区）

（高校教育課 学校づくり推進班）

1 要旨

富士地区の県立高等学校の在り方について、地域協議会での協議を踏まえ、グランドデザインを策定した。

○スケジュール

時 期	内 容
令和5年 1月17日	第1回県立高等学校の在り方に係る地域協議会
令和6年 5月13日	第2回県立高等学校の在り方に係る地域協議会
12月18日	第3回県立高等学校の在り方に係る地域協議会
令和7年 3月28日	第4回県立高等学校の在り方に係る地域協議会
7月17日	第5回県立高等学校の在り方に係る地域協議会（グランドデザインの検討）

2 グランドデザインの概要

- ・地域を知り、愛着を育む「先進的な探究学習」と、地域の内や外から富士地区を革新する「質の高い専門性」の学びを、それぞれの高校で掛け合わせた「ふじの学び」として展開するための最適な方策を検討

(1) 目指す人物像

○地域を知り、地域に愛着を持ち、地域を革新する人

- ・自然、産業、文化、歴史を尊重し、地域の発展に積極的に関わる人
- ・異なる文化や価値観を理解し、グローバルな視点を持ち国内外で活躍する人
- ・地域人材や資源を活用し、課題を主体的に解決する探究心のある人
- ・多様な産業の中で、高度な知識や技能を発揮できる専門性の高い人

(2) 目指す学校像

- ・幅広い知識・実践・体験による高度専門的・国際的人材の育成
- ・ものづくりの高度化と裾野の拡大も見据えた学科横断的な学習
- ・ビジネスや起業も目指せる柔軟なカリキュラム
- ・協働から自立へつなげる探究学習と専門的な学びを融合したキャリア教育
- ・工業・食・情報・芸術など地域が必要とする実践的な学びの充実

(3) 改編（再編整備）の方向性

令和15年度までに、富士市は3校、富士宮市は2校の適正規模の公立高校に集約

(4) 今後の対応

各学校におけるグランドデザインの具現化については、各市・学校と詳細な協議を行った上で決定する。

※公立高校の更なる魅力化・特色化に向け、国からの教育環境の整備・充実における支援策も活用

※実学系の学びについては、産業教育審議会（R6～7）答申及び地域の産業を踏まえた内容を検討

富土地域〈公立高校〉のグランドデザイン

【課題認識・全県】

- 少子化が進行する中で高校の改革（配置と規模のあり方など）
- VUCA、Society5.0 など変化の激しい時代を生き抜く力

【課題認識・富土地域】

- 令和20年度までに生徒数は約4割減少、他地区への生徒流出も増加
- 急激な生徒数の減少により、県立高校の小規模校化が今後更に進行
- 地域資源も活用した産業構造の多様化や新たな産業の育成、若者層を地域産業の担い手として取り込むことが必要

【高校改革の基本認識・全県】

- 行ける学校から行きたい学校へ、画一から多様へ（学びの変革）
- 地域・実社会と共にある学校（開かれた学校づくり）
- 時代の変化を踏まえた教育基盤（学校の配置・規模等）

【高校改革の基本認識・富土地域】

- 学びの方向性：地域を知り、愛着を育み、地域を革新する「ふじの学び」
- 「先進的な探究学習」と「質の高い専門性」の学びをそれぞれの高校で掛け合わせて展開
- 豊かで多様な教育活動を可能にする学校規模、専門的な学科やコース等の設置、充実した施設・設備は不可欠

【目指す人物像】

- 地域を知り、地域に愛着を持ち、地域を革新する人
- ・自然、産業、文化、歴史を尊重し、地域の発展に積極的に関わる人
 - ・異なる文化や価値観を理解し、グローバルな視点を持ち国内外で活躍する人
 - ・地域人材や資源を活用し、課題を主体的に解決する探究心のある人
 - ・多様な産業の中で、高度な知識や技能を発揮できる専門性の高い人

【求められる高校のあり方】

- ・高い技術や開発力を持つ企業等との連携による実践的・体験的な学び
- ・幅広い視野や新たな価値を見出す創造力等を育む教科横断的な学び
- ・将来を見据え、地域に貢献できる専門人材の育成（農・工・商・医療・福祉など）
- ・地域資源等を活用し、探究学習を通じた課題解決に必要な資質・能力の育成
- ・地区外の高校にはない、富士地区の産業構造に適応した質の高い専門性

【具現化のための方策】

【学びの変革のあり方】

- 「ふじの学び」の実践による特色ある学びの展開
 - ・学科間連携（普通×専門、専門×専門など）
 - ・学校間連携（研究活動、部活動、生徒会活動など）
 - ・教科横断的な学び（文理融合、STEAM教育）、専門人材を育成する教育プログラム
 - ・地域イノベーションの実現（新しい産業分野の創出）
- セーフティネット機能や特別支援教育の充実
 - ・全日制、定時制、特別支援学校（分校含む）が連携したインクルーシブ教育の推進

【地域との連携のあり方】

- 地元企業、自治体等と協働した産業教育の展開
 - ・高い技術力や研究開発力を持つ企業等と連携した実践的・体験的なカリキュラムの構築
 - ・小・中学校、大学、企業、自治体等との連携による探究的な学びの拡充
 - ・県外や地区外へ進学又は就職しても、将来的に富士地区を主体的に創る人材の育成
 - ・地域、企業、自治体との連携等を通じた、地域への理解や愛着等を育む教育の推進

【教育基盤のあり方】

- 専門性の高い知識・技術を学べる学科やコース
 - ・普通×専門、専門×専門、総合学科の強化 など
 - ・生徒や社会のニーズに応じた新学科やコースの設置
- 生徒の能力を最大限に引き出す効果的な教育環境
 - ・多様な科目選択や多彩な生徒との関わりを実現する学校規模
 - ・幅広い知識や専門性の高い学びを実現する施設・設備の活用
- 改編（再編整備）の方向性
 - ・令和15年度までに、富士市は3校、富士宮市は2校の適正規模の公立高校に集約

富士地域〈公立高校〉のグランドデザイン

イメージ

目指す人物像

地域を知り、地域に愛着を持ち、地域を革新する人

- ・自然、産業、文化、歴史を尊重し、地域の発展に積極的に関わる人
- ・異なる文化や価値観を理解し、グローバルな視点を持ち国内外で活躍する人
- ・地域人材や資源を活用し、課題を主体的に解決する探究心のある人
- ・多様な産業の中で、高度な知識や技能を発揮できる専門性の高い人

学びの方向性

地域を知り、愛着を育み、地域を革新する「ふじの学び」

◆先進的な探究学習

- ・学科・教科横断的な学び
- ・主体的なプロジェクト学習
- ・地域連携による地域愛育成

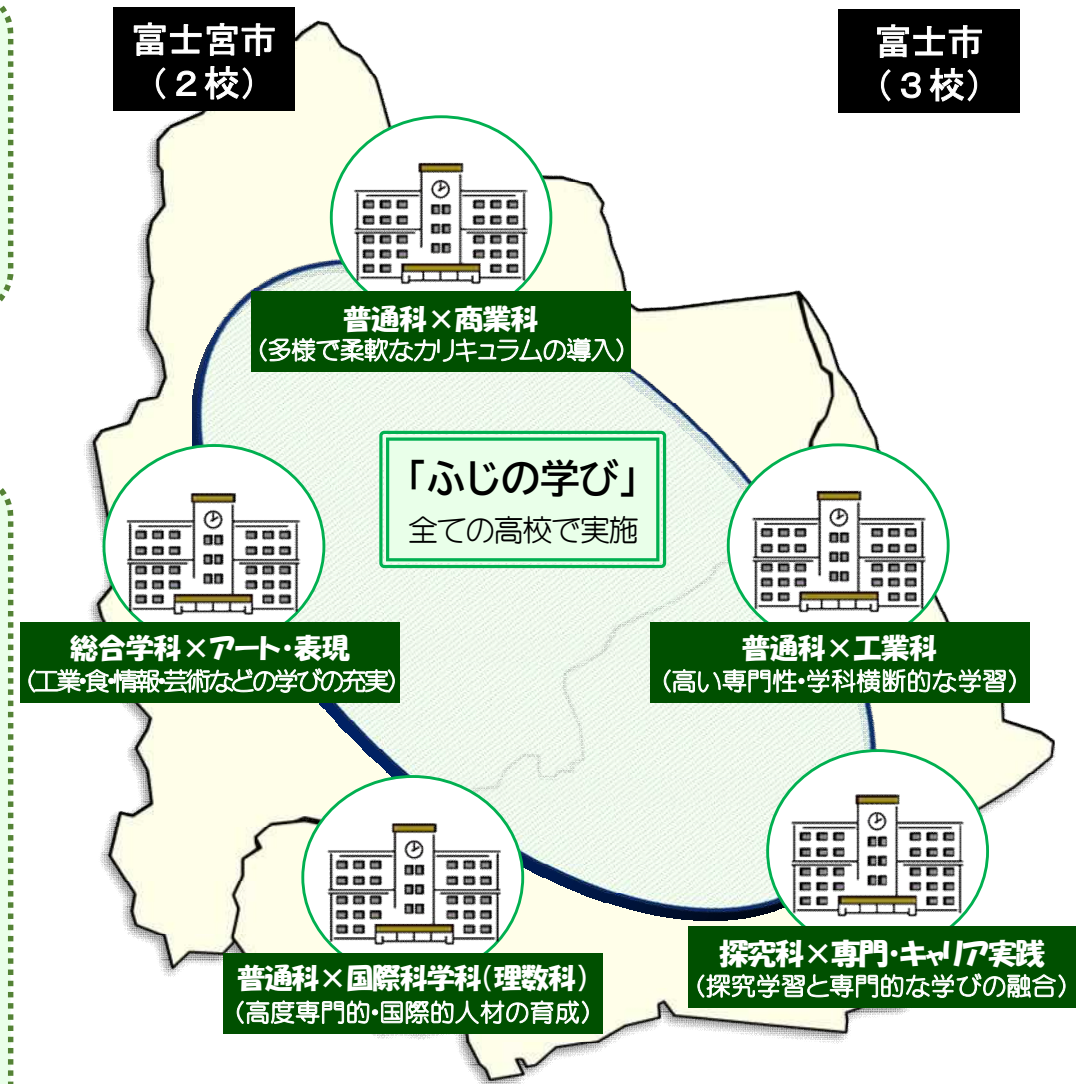
相乗効果

◆質の高い専門性

- ・専門人材の育成プログラム
- ・テクノロジーの効果的活用
- ・地元企業等との産業教育

◆「ふじの学び」に不可欠な教育基盤

- ・実践的な学びや探究学習が可能な施設・設備
- ・専門性の高い知識・技術を学べる学科やコース
- ・豊かで多様な教育活動、幅広い学びが可能な学校規模*



*「ふじの学び」に不可欠な適正規模(1学年6～8学級)に向けて県立高校の改編が必要
方向性 令和15年度までに富士市は3校、富士宮市は2校の適正規模の公立高校に集約